

令和 8 年 6 月17日付けで公告した「令和 8 年度国有林材（製品）の安定供給システムによる販売（第 2 次）」について、協定者を下記のとおり決定しましたので結果を公表します。

令和 8 年度 国有林材（製品）の安定供給システム（第 2 次）協定者の公表

物件 番号	協定者（商号又は名称）	出材予定 森林管理署等	協定数量 (m3)	主たる 樹材種	応募者数	申請者評価点		提案内容（②短期的な貢献等）
						最高点	最低点	
1	青森県木材協同組合	津軽	1,000	スギ	2	69	66	・販売協定先10社は当組合の組合員であり、それぞれの製材工場、製紙用・バイオマス用チップ工場へ原木を供給され、各工場では年間消費する量について、システム販売材を購入することで、その量が確保され工場の安定稼働と地域経済の発展及び国有林材の有効活用へつながる。また、各社が仕入れや製造を計画的に行えるので、トラックの手配も効率的に行われコスト削減が図られる。
2	青森県森林組合連合会	津軽	4,000	スギ・カラ・アカ	2	71	54	・製材用材として需要の少ない小径木を杭材として加工生産し、防災林及び緑化木支柱等に有効利用する。また、近年の大雪被害を受けたリンゴの木の支柱材用に円柱材を加工し農業協同組合に供給し地域産業への貢献をさらに進める。【樹種：スギ、規格：長級4.00m 径級9～11cm、小曲可・軽微なトビ腐れ可（矢高木口径の20％以内・重曲不可）】 ・販売協定先から製材用として3.65m、梱包・仕組材用として2.20m及び2.40m等の採材要望があり、状況に応じた需給調整を図る。 ・山元から協定先への流通は、状況に応じて、山元直送販売、海上輸送販売、木材センター販売の中から効率的なものを選択する。また、木材センター及び港の一部を中間土場として活用することで、流通の効率性を上げる。
3	青森県森林組合連合会	津軽	4,000	スギ・カラ・アカ 他	2	71	65	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
4	青森県森林組合連合会	津軽	1,000	スギ	1	73	-	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
5	青森県森林組合連合会	金木	4,500	スギ・カラ・アカ	2	71	-	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
6	青森県森林組合連合会	金木	4,500	スギ・カラ・アカ・広	2	71	66	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
7	青森県森林組合連合会	青森	5,000	スギ	2	71	-	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
8	青森県森林組合連合会	青森	5,000	スギ・カラ・アカ・広	2	71	66	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
9	青森県森林整備事業協同組合	下北	6,000	スギ	1	80	-	・協定を結んでいる地元工場は、原料の計画的・安定的な確保が可能になることで、施設整備や新規雇用を行っていることに加え、需要の少ない径級等の新規需要の開拓を図り、丸太価格の向上に貢献している。
10	青森県森林整備事業協同組合	下北	6,000	スギ	1	80	-	物件番号第 9 号の提案内容と同様である。
11	青森県森林整備事業協同組合	下北	4,000	スギ	2	80	61	物件番号第 9 号の提案内容と同様である。
12	青森県森林整備事業協同組合	下北	3,500	スギ	2	80	68	物件番号第 9 号の提案内容と同様である。
13	－	三八上北	700	スギ	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
14	青森県森林組合連合会	三八上北	2,000	スギ・カラ・アカ	2	71	-	物件番号第 2 号の提案内容と同様である。
15	青森県木材協同組合	三八上北	3,000	スギ・カラ・アカ・広	3	69	57	物件番号第 1 号の提案内容と同様である。
16	ノースジャパン素材流通協同組合	岩手北部	2,000	スギ・カラ	2	70	69	・国有林の売り上げを早期に最大限確保することに貢献する。 ・虫害時期はもとより、搬出販売スピードをアップさせて、原木の価値を最大限に高めることに貢献する。 ・需要者のニーズを、当該県のほか東北全域及び東北以外からも収集し、森林管理署や生産請負事業者に情報提供することで生産に貢献する。 ・生産請負事業者が素材の高値販売のノウハウを習得し、国有林立木販売の高値落札及び落札率の向上に貢献する。 ・合板・集成材・製材・杭材など様々な需要に合わせた選別を行い、原木に付加価値を付けた販売をすることで貢献する。 ・山土場からの速やかな搬出を行い、山土場の回転率を上げることで、生産請負事業者に貢献する。
17	岩手県森林組合連合会	岩手北部	3,000	スギ・カラ・アカ・広	4	69	54	・本会で所有する木材センターやストックポイントを中間土場として活用することで、搬出速度の向上、林道の損傷リスクの低減により、コスト削減が見込まれる。 ・採材検討会への積極的な出席や市況・販売先からの情報を管理署の担当官にも伝えることで山土場での有利販売に貢献する。 ・県産材の需要拡大を図ることで、ひいては岩手県内の国有林の需要拡大に繋がる。
18	岩手県森林組合連合会	三陸北部	5,200	スギ・カラ	2	69	56	物件番号第17号の提案内容と同様である。
19	ノースジャパン素材流通協同組合	三陸北部	6,700	スギ・カラ・アカ・広	3	72	67	物件番号第16号の提案内容と同様である。
20	有限会社丸與木材店	久慈	2,000	アカ・広	3	75	56	・大径木から小径木まですべての径級を受け入れることで、山林の有効活用を図る。 ・大径木は縦割り機で処理することで、チップパー機に投入できるサイズに分割が可能で、チェーンソーによる分割処理の 1 / 3 の経費でチップを製造する事が可能である。 ・山元から工場までの距離が近いため、運搬コストの削減、早期の運搬が可能であり、国有林の素材生産で利用する山元土場に原木が滞留することがなくなり、国有林の素材生産性の向上が期待できる。
21	岩手県森林組合連合会	三陸中部	1,500	スギ・カラ・アカ・広	3	69	61	物件番号第17号の提案内容と同様である。
22	－	盛岡	1,000	スギ	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
23	有限会社二和木材	盛岡	1,000	スギ・カラ・アカ	2	82	65	・特許登録（特許番号第5483319号）された高周波乾燥技術も活用し、土場原木5,000㎡及び乾燥原板2,000㎡の在庫確保と合わせ、家具用、木工用、内装用（複合フローリング等含む）といった高級な用途も含めた（2015年ウッドデザイン賞受賞歴有）高品質なKD材の安定供給体制を創る。 ・併せて、SGECのCOC認証も活用して、持続可能性を前面に押し出した木材のブランディング販売体制を外部デザイナーとも連携し、HP等インターネット上の情報発信も含め、構築する。 ・JAS機械等級区分構造用製材の認証を追加取得することで、既存の認証を合わせ、地元国有林材の付加価値を図る。
24	岩手県森林組合連合会	盛岡	1,000	スギ・カラ・アカ	2	69	61	物件番号第17号の提案内容と同様である。
25	日本製紙木材株式会社	盛岡	4,000	スギ・カラ・アカ・広	4	87	59	・販売先（製材所・合板工場・チップ工場・バイオマス工場）の規格・品質に迅速に対応することで経営の安定化に貢献できる。システム販売材の購入が実現することで新規需要先の開拓へ繋がる。弊社が蓄積してきた幅広い顧客網を活用することで、搬出期間の短縮に繋がる。輸送業者との取組を強化して複数の物件を契約することで輸送効率の向上・コスト削減を実現するとともにCO2排出削減・2024年問題への貢献に資する。
26	ノースジャパン素材流通協同組合	岩手南部	2,000	スギ・アカ・カラ・広	3	70	62	物件番号第16号の提案内容と同様である。
27	ノースジャパン素材流通協同組合	岩手南部	2,000	スギ・アカ・カラ・広	3	73	60	物件番号第16号の提案内容と同様である。
28	ノースジャパン素材流通協同組合	岩手南部	4,000	スギ・アカ・カラ	1	73	-	物件番号第16号の提案内容と同様である。
29	日本製紙木材株式会社	遠野	1,000	スギ・カラ	3	81	67	物件番号第25号の提案内容と同様である。
30	岩手県森林組合連合会	遠野	2,000	スギ・カラ	2	69	64	物件番号第17号の提案内容と同様である。
31	岩手県森林組合連合会	遠野	3,500	スギ・カラ・アカ・他N	3	69	66	物件番号第17号の提案内容と同様である。
32	－	宮城北部	2,000	スギ・カラ・アカ	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
33	－	宮城北部	2,000	スギ・カラ・アカ	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
34	日本製紙木材株式会社	宮城北部	3,000	スギ・カラ・アカ・他N・広	2	87	75	物件番号第25号の提案内容と同様である。
35	－	宮城北部	1,000	スギ	1	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
36	－	仙台	500	スギ・アカ	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
37	日本製紙木材株式会社	仙台	1,500	スギ・アカ・他N・広	2	87	77	物件番号第25号の提案内容と同様である。
38	株式会社沓澤製材所	米代東部	500	スギ	1	79	-	・素材：素材生産業者・森林組合及び国有林から購入または、請負販売した原木調達を増やしながら、地域の林業・木材産業への貢献を図っていく。 ・製品：人工乾燥機の増設に伴い、秋田スギ人工乾燥材の供給を増やししながら、JAS製品の品質向上に努める。桶樽部門では、国有林からの丸太を製材した端材、間伐材を利用して、桶樽・小木工品の制作を続けており、新商品開発にも取り組んでいる。 ・設備：製材過程で生じるパーク、チップ、おが屑を燃料に木質バイオマスボイラーを使用。秋田県内初のＪクレジット制度に登録。石油などの化学燃料削減と地球温暖化防止、国有林資源の有効活用をもとにSDGsを意識した取組に努める。また、地域資源を活かす生産性と歩留まりを向上させる体制づくりに努める。 ・人材：現在全従業員47名に対し有資格者20名以上で、毎年 5 名以上の資格取得を進めているが、資格では得られない経営方針（地域・顧客貢献等）、生産体制、環境配慮などを意識した組織づくりに取り組む。メンター制度を活用し人材確保と成長を促す。
39	秋田県素材生産流通協同組合	米代東部	3,000	スギ	1	78	-	・協定先は A 材から D 材まで受け入れる大型製材工場である。原木選別機検知により予定の材種区分外の原木が搬入された場合でも、当該原木は購入可能である。 ・木材クラウドを活用することにより、原則原木選別機に搬入した翌日午後には、インターネット上で検知データが当該森林管理署及び生産請負事業体（組合員に限る）で入手することができ、事業の進行管理に寄与できる。
40	日本製紙木材株式会社	米代東部	5,000	スギ・カラ	2	81	73	物件番号第25号の提案内容と同様である。

物件 番号	協定者（商号又は名称）	出材予定 森林管理署等	協定数量 (m3)	主たる 樹材種	応募者数	申請者評価点		提案内容（②短期的な貢献等）
						最高点	最低点	
41	－	米代東部	5,000	スギ・カラ・広	1	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
42	－	米代東部	5,000	スギ・カラ・広	1	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
43	－	上小阿仁	700	スギ	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
44	秋田県素材生産流通協同組合	上小阿仁	6,300	スギ	1	78	-	物件番号第39号の提案内容と同様である。
45	株式会社門脇木材	上小阿仁	1,500	スギ	1	71	-	・原木の安定供給、製品の安定生産により、引き合いの強い非住宅向け物件へ安定して製品の出荷が可能になる。また、新規販路開拓を進めることで、国産材需要創出に貢献できる。近隣現場からの出材であれば、自社工場へ自社トラックでの効率的な運搬が可能となるので、伐採現場の原木が滞留することがない効率的な作業が可能となり、コスト削減へ貢献できる。
46	ノースジャパン素材流通協同組合	上小阿仁	6,500	スギ・カラ・アカ	1	73	-	物件番号第16号の提案内容と同様である。
47	－	上小阿仁	2,200	スギ・カラ・アカ・広	2	-	-	申請価格が予定価格に達しなかったため、未協定。
48	日本製紙木材株式会社	米代西部	3,000	スギ	3	87	65	物件番号第25号の提案内容と同様である。
49	秋田県森林組合連合会	米代西部	2,000	スギ	1	66	-	・システム販売材を購入することにより、国有林材に民有林材を含めた安定供給体制ができる。これにより、各協定先の安定的な製品生産に貢献できる。また、迅速な運搬により山土場における材の滞留を防ぐこととなり、素材生産事業の生産性向上にも貢献ができる。
50	秋田県森林組合連合会	米代西部	2,000	スギ	1	66	-	物件番号第49号の提案内容と同様である。
51	株式会社門脇木材	秋田	1,000	スギ	2	73	-	物件番号第45号の提案内容と同様である。
52	秋田製材協同組合	秋田	1,000	スギ	1	73	-	・国有林のシステム販売材の購入する事で、協定期間中に不足している3m材の需給バランスを改善し、迅速に市場のニーズに対応することができます。3m材の仕入れが安定することで、他の材長（4m材、3.65m材）における効果的な仕入れが可能となります。出材が増えた場合には、昨今の原材料コスト抑制が期待でき、販売量の増大との新規市場の開拓・拡販に繋げることができます。林産物の需要創造に寄与し安定供給することで、国有林事業の拡大と活性化に貢献できます。
53	日本製紙木材株式会社	秋田	4,000	スギ	2	87	73	物件番号第25号の提案内容と同様である。
54	秋田県森林組合連合会	秋田	4,000	スギ・広	1	66	-	物件番号第49号の提案内容と同様である。
55	北日本索道株式会社	湯沢	3,500	スギ・カラ・広	2	87	77	・生産工程により発生する全てについてチップとして有効活用する。（製紙用はチップ材、ダストは菌床・畜産敷料・樹皮はバイオ燃料として全て活用する） ・署担当者と連絡を密にして、生産現場の進行状況や集積土場の状況、林道等の状況を把握しながら、無駄のない配車計画により安全で効率的な運搬を図る。
56	株式会社庄司製材所	由利	2,500	スギ	1	71	-	・自社トラックでの丸太の運搬により土場からの運搬コストの削減。 ・工場への搬出から製品出荷までの中間コストの削減。 ・廃校を利用しバイオマスボイラーの乾燥施設にしたことにより、KD材生産へのコストダウンを実現。
57	北日本索道株式会社	由利	2,500	スギ・カラ・広	3	87	77	物件番号第55号の提案内容と同様である。
58	山形県森林組合連合会	山形	1,000	スギ	1	70	-	・国内需要が下振れた場合、輸出用材としての販売が可能であり、品質の劣る規格も、問題なく、流通が可能であり、請負事業の安定化に寄与したい。 ・特定の工場に偏ることなく、需要に即した納材を行うことにより、山土場の回転率を高め、生産性向上に貢献したい。
59	－	山形	1,000	スギ	0	-	-	申請者なし
60	－	最上	1,000	スギ	0	-	-	申請者なし
61	株式会社旭林業	置賜	1,000	スギ	2	61	61	・自社の原木輸送トラックで山元土場からの直送によりコスト削減を図り、計画的な輸送を行うことで山元土場で材がはけないため搬出ができない等の請負事業の妨げになることを防止できる。そのことで工期に余裕が持て作業を焦ることなく、災害ゼロにつながっていくのではないか。中間土場を確保し一時的に保管することにより計画的な販売につなげる。
62	小国町森林組合	置賜	1,500	スギ	2	66	56	・自社の昨年導入した大型トレーラ（1台）及び大型グラブプル付きトラック（3台）を活用して、大量輸送することで輸送コストの削減を図り木材の安定供給を進める。

※物件番号：61号については、同点となった為、申請価格の上位者と協定を締結。なお、応募者数が2以上で最低点を表示していない物件については、応募者の一部が予定価格に達していないためである。

令和8年9月10日
東北森林管理局長 箕輪 富男